



NO.

# いちじゅう

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草7-4-1

-0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

## 断ち物

本龍院執事長 深谷昌広

最近インターネットで参拝の作法を調べる方が多いようです。つい先日もし若い方が受付で「聖天様に断ち物を約束しましたが、その約束を破ってしまいました。どうすればよいのでしょうか」と尋ねてきました。

伺えばインターネットに、聖天様にお問い合わせする時には断ち物をしたほうが良いと書いてあったそうです。ご存じの方も多いと思いますが、当山のお経本の最後にページには『信者の心得』として「断ち物は強い決意が必要ですから、むしろせぬ方がよい。」とはっきりと書いてあります。

往々にしてお参りの作法は各寺社で違うことがあります。ネットで調べられる方も多いと思いますが、お参りのことでしたらいつでもお答えいたしますので、お気軽に当山の僧侶にお聞きいただければと思います。ところで断ち物のことは、昔からお悩みの方が多く、ようて昭和十一年発行の『歓喜 六号』にも同じ質問があります。そこには「：「約束をして守らないと厳罰が来る」といふことですが、これは確かにあります。」

と断ち物の厳しさを解いています。

ただし「初めて信仰するには断ちものをしなければならぬように言ひ聞かされて、是非を考える余裕がなく、断ち物をしたやうな人は、その誓いを破った時でもそれ程の罰はないやうである。」とあります。前述のネットの情報で断ち物をした方はこれに当たると思っています。

逆に何度もご利益をいただき、尊天様に報恩の為に誓いを破ると、「非常な罰が来る。」とあります。しかしこの罰は尊天の怒りから来るものではなく、親が子を正しい道に導くためのお叱りであるそうです。そもそも聖天様が私たちの願いを叶えるのは、あくまで仏道に導くための方便であり、「：満足した生活をまず与えて自然に正しき生活を勤しむる心を起す余裕を作らしめんが為のもの」です。

ですから尊天に報いるには断ち物より「布施行」が一番だと思います。これは寺院に喜捨することだけでなく、聖天様が私たちにされたように、悩んだり困っている人を助け導くことです。それが尊天に対しての何よりのご供養です。

# 六月御縁日大法要 行事紹介

## 歡喜地藏尊供養会

六月二十四日(木) 午前十一時

講金 一、五〇〇円

ご真言 オン カカカ ビサマエイ ソワカ



境内の山門をくぐり左手にあります歡喜地藏尊と成就橋先におまつりされてお地蔵様を祀養いたします。

当山歡喜地藏尊はお子様が無事で健やかな成長を願ひ、また子宝、安産を祈願する子育て地蔵尊

として、多くの方の信仰を集めてきました。

またお地蔵様は「六道能化」と言われ地獄、餓

鬼、畜生、修羅、人間、天の六道で迷う者たちを直

接導いてくださる仏様です。進む道に迷った時には、

お地蔵さまを頼ってみるのもよいかも知れません。

講にお申込みの方には、地蔵供養会のお守りと

諸難除けの腕輪念珠を授与いたします。ぜひご家族

の分とあわせてお申込み下さい。

法要当日は一般参拝は出来ません。ライブ中継を

行いますので、ご自宅でも一緒に御勤めください。

(詳細は三面参照)

# 待乳山便り

## 安全講 報告

初夏の訪れを感じる暖かい天候に恵まれた四月十八日、皆様の諸事安全を祈願して安全講の法要を行いました。

「大般若は諸難を万里の外に退ける」と法要の法則にあるように住職、式衆一同、至心に転読法要を執り行い、皆様の無事安全を祈願いたしました。

## 札盆の配布を中止します。

七月一日より御祈禱札に添えて授与しております札盆の配布を中止させて頂きます。

札盆とは、尊天様のお札を床やテーブルなどに直接置いたときなどに粗末にしないため御祈禱札の下に敷いてある木のお盆です。

もちろんお盆ですのでお宮やお札立てに入れておまつりする場合には必要ありません。

札盆がかさばる、お宮に入れづらいなど皆様からのご要望が多い事、他の神社でもお札のみの授与が多い事、また昨今の環境意識の高まりを考慮して配布の中止を決断致しました。

なお今後も札盆を希望される方には、今まで通りお授けしますので御札受け取りの際に受付でお申し付けください。

# 世話人往来

昨年四月をもって当山世話人として長きにわたりが尽力いただいた、三崎登子様、井沼良子様、渡邊由美子様三名が任期満了を迎えられ退任されました。

コロナ禍の影響で延期されておりました世話人OB会の輪袈裟授与式をようやく執り行なわれました。



## 御奉納

井上穰・裕

子様よりロビーで用いる応接セツト一式をご奉納いただきました。

ベージュのソファと綺麗な木目の机は、絨毯の色にマッチして、明るく爽やかなロビーになりました。ご奉納いただきありがとうございます。



『勤務十年を経て』

本堂部 辻村政昭

三月十一日の大震災を体験した直後にご縁により待乳山に勤務し、十年後の今年にはコロナを経験、人生二回目の東京オリンピックに遭遇するという私にとって特別な年になります。仏教の世界で社会に役立つ仕事をしていることに誇りを持たせて頂いたことや、職場の皆さんや多くの信者さんとの思いがけない新しい出会いに感謝しております。

両親と合掌している幼児の姿に感動し「合格しました」「病が快復しました」「子どもが授かりました」等、信者さんからの喜びの声が日常の活力になっています。

二千五十年に百歳以上が百万人を超える人生百歳時代を迎えます。私自身残り三十有余年、若いという未知の世界へ冒険に乗り出す心境です。

人との触れ合いが高齢者の健康にとっても大切なのは医学的にもいわれており、待乳山での様々な方々との触れ合いが、やり甲斐や生き甲斐に繋がりが、これからの人生をアクティブにそしてポジティブに歩んでいけることに感謝しております。私自身今までの経験を生かし人を元氣付ける一種の『ワクチン』として皆さまのお役に立てることを祈念しております。

仏具解説『天蓋』

本堂でお参りされる際、外陣から内陣の天井をご覧いただけますと、大きな飾りがあるのをご存じの方もいらっしゃると思います。この飾りを「天蓋」と言います。この天蓋には、「仏天蓋」と「人天蓋」の二つの種類があり、文字通り「仏天蓋」は仏様の上にかざし、「人天蓋」は導師や住職の上にかざし、装飾的な意味合いもあります。



「天蓋」は、六世紀半ば、仏教が日本に伝播した時に、百濟からもたらされました。また莊嚴具として用いられている為、天人、靈鳥などの彫刻が彫られているものがあります。

また、この天蓋には幾つかの意味が込められていると言います。一つ目には、「尊い者を守るという意味」、二つ目には「仏の徳が自ずから外に現れ出た徳そのものが天蓋であるという意味」、三つ目には「天蓋に見合うような者になる・なって欲しいという意味」です。天蓋の周辺を飾る瓔珞や、幢幡などもありますが、またの機会に解説させていただきます。

諸行事参加について

コロナ禍が続いておりますが、現在の諸行事の参加ならびに申込方法をお知らせいたします。

◎朝まいり会・写経の会

朝まいり会、写経の会を予約制となっております。朝まいり会は毎月一日から七日の中からお一人一日のみ参加できます。定員は一日十名です。

写経の会は第二日曜日とその前日の土曜日の計二日、それぞれ定員二十八名で午前十時のみの開催となります。

いずれも毎月十五日より、翌月分のご予約を専用電話番号にて、ご本人様のみ受付いたします。

予約電話番号 080-7419-1297

朝まいり会はライブ配信がございますので、ご利用ください。

<http://www.matsuchiyama.jp/zasamairi6.html>

◎諸講 合同大般若法要

当面の間、当山僧侶のみで執り行ないます。

ライブ配信がございますので、ご利用ください。お申込み頂いたお札、お供物等は法要終了後より受け取り可能です。

<http://www.matsuchiyama.jp/houyoulive.html>

◎日曜勤行 坐禅の会

当面の間、中止とさせていただきます。

※今後の情勢に応じて、変更する場合がございます。



# 五月行事予定

## 御縁日大法要

### 地藏尊供養会

六月二十四日(木) 午前十一時

講金 一、五〇〇円也

歎喜地藏様をご供養し、特にお子様が無病息災を祈願いたします。

※法要は僧侶のみで行います。ご信徒様におかれましては、ご自宅でのお勤め、またはライブ配信をご利用ください(詳しくは三面をご覧ください)

### 朝まいり会

六月一日〜七日 午前八時から八時半

会費 五〇〇円也

※事前予約制 詳しくは三面をご覧ください

### 写経の会

六月十二日(土)、十三日(日) 午前十時のみ 会費 五〇〇円也

※事前予約制 詳しくは三面をご覧ください

### 合同大般若法要

六月二十五日(金) 午前十一時

法要料 五、〇〇〇円也

心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆さんと一緒に上げる御礼の法要です。

※法要は僧侶のみで行います、ライブ配信をご利用ください(詳しくは三面をご覧ください)

### 七月の行事 御縁日大法要

#### 出世観音供養会

七月十七日(土) 午前十一時

講金 一、五〇〇円也

#### 常香講

七月二十日(火) 午前十一時

講金 一、五〇〇円也

※法要は僧侶のみで行います。ご信徒様におかれましては、ご自宅でのお勤め、またはライブ配信をご利用ください(詳しくは三面をご覧ください)

## ご祈祷のご案内

### 祈祷料

聖天様独特の供養法である

浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力により一層高められ、私どもが不可能と思われるような願

い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就

させて頂けるのであります。当山ではこの浴油祈祷を、

毎朝開堂と同時に厳修して

おります。寺務所にて受け付けておりますので、お名前と

お願いの内容、祈祷期間をお伝え下さい。

またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお

申込みください。

別座祈祷 壱万円(一週間)

浴油祈祷 三千五百円(一週間)

華水供 五百円(一日)

### 法要案内

当山では予約にて法要を行っております。寺務所にて

お問い合わせください。

百味供養 法要料 八万円

沢山のお供物をお供えし、出仕の僧侶が声明をお唱え

することで、尊天さまに御礼の供養をいたします。

大般若法要 法要料 五万円

所願成就御礼の法要として、大般若経六百巻を転読いたします。

自動車加持 法要料 壱万円

当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。

皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。ご意見やご質問は [ityou@matsuchiyama.jp](mailto:ityou@matsuchiyama.jp) までメールをお送りください。